

歯科材料 08 歯科用石こう及び石こう製品
一般医療機器 歯科高温鑄造用埋没材 (70900020)

ジーシー セラベストクイック

【警告】*

本材は遊離シリカを含有します。遊離シリカは、長期にわたって吸入すると肺が損傷される恐れがあります。粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸引しないこと。

【形状・構造及び原理等】*

形状 ・ 粉末、液

主成分 ・ 粉末：クリストパライト、石英、ケイ酸ジルコニウム、酸化マグネシウム、第一リン酸アンモニウム

・ 液：コロイダルシリカ、水

原理 ・ 耐火材である石英、ケイ酸ジルコニウムと酸化マグネシウムと第一リン酸アンモニウムの反応により酸化するバインダーにより鑄造用鑄型を作製する。

特性

混液比	(液/粉)	0.22
硬化時間	(分)	12
流動性	(mm)	130
線熱膨張率	(%)	1.1
圧縮強度	(MPa)	3.5

JIS T 6612「歯科高温鑄造用埋没材、プレスセラミックス用埋没材及びセラミックス用耐火模型材」タイプ1、クラス2

【使用目的又は効果】*

歯科用プレシヤス合金、セミプレシヤス合金を鑄造するのに使用される急速加熱タイプのりん酸塩を結合材とした埋没材で、鑄造用鑄型として使用する。

【使用方法等】*

1) 粉末・専用液の準備

混液比は、粉末 100 g に対して液 22 mL です。鑄造する合金の種類により、液を下記の比率を目安に水で希釈します。(希釈にはなるべく蒸留水を使用する。)

プレシヤス合金 液1：水1 (総膨張 約 1.66%)

セミプレシヤス合金 液2：水1 (総膨張 約 1.8%)

※希釈する場合は、液と水を充分に混合させてから使用します。

※液を計量する前に、容器を良く振ってから使用します。

2) リングライニング材の内張り

鑄造リングに合わせ、厚さ 1 mm のライニング材(ジーシーバイオキャストライナー等)を、水に濡らさずに 1 枚内張りします。

3) 界面活性材の塗布

気泡の発生を防ぐため、埋没する前にパターンに界面活性材(ジーシー シュールミスト等)を塗布し、充分乾燥させます。

4) 練和

手練和で粉末と液を、スパチュラで練和泥を練和カップにすり付けるように 30 秒間むらなく均一に練和します。手練和後は、真空練和器を使用して 60 秒間練和します。

5) 埋没

気泡の混入を避けるため、バイブレーターを用いて埋没します。

6) 乾燥及び焼却

埋没 30 分後、800℃に設定したリングファーネス(ジーシーオートファーネスMF-I/E F-I 等)に入れ、30 分以上係留して焼却します。

※埋没材の厚みが厚い場合やファーネスに投入するリングの数が多き場合には、焼却に必要な時間は長くなる場合があります。

【使用方法等に関連する使用上の注意】*

- 1) 液を水道水で希釈した場合、1ヶ月以上保存するとゲル化することがあるので注意すること。
- 2) 練和開始後 30 分経過した時点では、リングは硬化時の発熱により温度が上昇しているため、火傷等に注意すること。
- 3) ノンプレシヤス合金には、適切な膨張が得られない場合があるので使用しないこと。
- 4) レジン系のパターン(ジーシー パターンレジンXF等)には界面活性材を使用しないこと。
- 5) 界面活性材を多量に塗布すると、鑄造面が荒れることがあるので注意すること。
- 6) 温度によって、硬化時間、膨張が変化することがあるので、粉末・液の温度は 20~25℃に保つこと。
- 7) 粉末・液の温度が 20℃以下の場合は、硬化が遅くなり面荒れ、バリなどのトラブルの恐れがあるため、埋没後 30 分以上放置し、硬化を確認してからファーネスへ投入すること。
- 8) 手練和が不足すると硬化が不十分になり、面荒れやクラックの原因となるので、必ず練和泥をすり付けるように充分練和すること。
- 9) 本材と石こう及び石こう系埋没材を混用すると、双方の硬化時間が遅延することがあるので、練和の際は本材専用の練和容器を使用すること。
- 10) 真空器械練和は、真空練和器のカップと攪拌羽根の間に隙間があると練和不良になることがあるので、充分に注意すること。
- 11) 加圧埋没は、埋没材の硬化を遅延させることがあるので注意すること。
- 12) 焼却温度は、850℃を超えると面荒れ等の原因となるので注意すること。
- 13) レジン系のパターン(ジーシー パターンレジンXF等)やスプルー線を使用する場合には、急速加熱による焼却は避けること。
- 14) 一昼夜放置後にファーネスへ投入する場合は、保湿可能な容器に密封保存し、急速加熱による焼却は避けること。
- 15) 液は、電解質たとえば食塩、石こう、酸などの混入によってゲル化し、元にもどらなくなるので、注意すること。
- 16) 液に、空気中のカビ胞子が入ると浮遊物が発生することがあるので、使用後はすぐに密閉すること(ただし、浮遊物が発生した液を使用しても鑄造上の問題はありません)。
- 17) 内径が 50 mm を超えるリングを使用する場合には、急速加熱による焼却は避けること

【使用上の注意】*

1) 重要な基本的注意

- ① 本材の研削、研磨の際には、目を傷つけないように、防護メガネなどを使用すること。
- ② 本材又は練和物は、目に入らないように注意すること。万一目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- ③ 本材を加熱する際には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、加熱により発生するガスを吸入しないこと。
- ④ 開封後は、できるだけすみやかに使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法] *

- ・液は0℃以下になると粘性が高くなり凍結し、解凍しても使用できなくなるので、5℃以上の場所で保管する。
- ・開封後は吸湿しないように密閉し、直射日光、高温多湿の場所を避けて保管する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限までに使用すること。

※（例 EXP. 2028-08は
使用期限2028年 8月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売元 : 大成歯科工業株式会社
住所 : 〒576-0017
大阪府交野市星田北4丁目38番7号

発売元 : 株式会社ジーシー
住所 : 〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目2番14号
電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480